

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2005-520543(P2005-520543A)

【公表日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-578538(P2003-578538)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 M	1/00	(2006.01)
C 1 2 M	1/34	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 M	1/00	A
C 1 2 M	1/34	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	37/00	1 0 2
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	15/00	F
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月16日(2006.3.16)

## 【手続補正１】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

患者において癌を診断するための組成物であって、患者のサンプルにおけるＣＡ遺伝子の差次的発現の存在を検出するための手段を含み、該ＣＡ遺伝子は、ＳＮＬ、ＦＯＳＢ、ＣＣＮＤ１、ＭＹＣ、ＮＦＫＢ１、およびＰＶＴ１からなる群より選択され、該サンプルにおける該ＣＡ遺伝子の差次的発現の存在が、癌を有する患者を示す、組成物。

【請求項２】

癌を診断するための組成物であって、以下：

（ａ）第一のサンプルにおけるＣＡ遺伝子の発現のレベルであって、ここで、該ＣＡ遺伝子はＳＮＬ、ＦＯＳＢ、ＣＣＮＤ１、ＭＹＣ、ＮＦＫＢ１、およびＰＶＴ１からなる群より選択され、そして該第一のサンプルは第一の個体の第一の組織型を含む、レベル；ならびに

（１）第二のサンプルにおけるＣＡ遺伝子発現のレベルであって、ここで該第二のサンプルは該第一の個体の正常組織型を含む、レベル；または

（２）第三のサンプルにおけるＣＡ遺伝子発現のレベルであって、ここで該第三のサンプルは罹患していない個体由来の正常組織型を含む、レベル

を測定するための手段を含み、ここで、（ａ）におけるＣＡ遺伝子発現のレベルと該第二のサンプルもしくは該第三のサンプルにおけるＣＡ遺伝子発現のレベルとの間での少なくとも約５０％の差異が、該第一の個体が癌を有するか、または癌を患い易いことを示す、組成物。

【請求項３】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記検出のための手段がｍＲＮＡレベルを測定するための手段を含む、組成物。

【請求項４】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記検出のための手段がＣＡタンパク質（ＣＡＰ）レベルを測定するための手段を含み、該ＣＡタンパク質が配列番号６、１２、１８、２４、３０および３３からなる群より選択される配列を有する、組成物。

【請求項５】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記ＣＡ遺伝子が、配列番号５、１１、１７、２３、２９および３２からなる群より選択される少なくとも１つの核酸配列を含む、組成物。

【請求項６】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記癌が、結腸癌、肺癌、膵臓癌、卵巣癌、胃癌、乳癌または前立腺癌である、組成物。

【請求項７】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記遺伝子が、ＳＮＬ１であり、そして前記癌が乳癌である、組成物。

【請求項８】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記遺伝子が、ＦＯＳＢであり、そして前記癌が乳癌、結腸癌、肺癌、膵臓癌、卵巣癌、胃癌、または前立腺癌である、組成物。

【請求項９】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記遺伝子が、ＭＹＣであり、そして前記癌が乳癌である、組成物。

【請求項１０】

請求項１または２に記載の組成物であって、前記遺伝子が、ＣＣＮＤ１であり、そして前

記癌が乳癌、結腸癌、肺癌、膵臓癌、卵巣癌、胃癌、または前立腺癌である、組成物。

【請求項 1 1】

請求項 1 0 に記載の組成物であって、前記結腸癌が、S 状結腸癌または横行結腸癌である、組成物。

【請求項 1 2】

請求項 1 または 2 に記載の組成物であって、前記遺伝子が、N F K B 1 であり、そして前記癌が、肺癌、皮膚癌または乳癌である、組成物。

【請求項 1 3】

請求項 1 または 2 に記載の組成物であって、前記遺伝子が、P V T 1 であり、そして前記癌が乳癌である、組成物。

【請求項 1 4】

癌を処置するための組成物であって、C A タンパク質 ( C A P ) のインヒビターを含み、該 C A P は C A 遺伝子をコードし、該 C A 遺伝子は、S N L、F O S B、C C N D 1、M Y C、N F K B 1、および P V T 1 からなる群より選択される、組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の癌を処置するための組成物であって、前記 C A タンパク質 ( C A P ) のインヒビターが C A タンパク質に結合する、組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 に記載の癌を処置するための組成物であって、前記 C A タンパク質 ( C A P ) のインヒビターが、S N L、F O S B、C C N D 1、M Y C、N F K B 1、および P V T 1 からなる群より選択される C A P 配列の活性を調節する、組成物。

【請求項 1 7】

抗癌活性について候補抗癌剤をスクリーニングする方法であって、以下：

( a ) C A 遺伝子を発現する細胞と候補抗癌剤とを接触させる工程であって、該 C A 遺伝子は、S N L、F O S B、C C N D 1、M Y C、N F K B 1、および P V T 1 からなる群より選択される、工程；ならびに

( b ) 該候補抗癌剤の存在下での該細胞における C A 遺伝子発現のレベルと、該候補抗癌剤の非存在下での該細胞における C A 遺伝子発現のレベルとの間での、少なくとも約 5 0 % の差異を検出する工程であって、該候補抗癌剤の存在下での該細胞における C A 遺伝子発現のレベルと、該候補抗癌剤の非存在下での該細胞における C A 遺伝子発現のレベルとの間での、少なくとも約 5 0 % の差異が、該候補抗癌剤が抗癌活性を有することを示す、工程

を包含する、方法。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 に記載の方法であって、該候補抗癌剤の存在下での該細胞における C A 遺伝子発現のレベルと、該候補抗癌剤の非存在下での該細胞における C A 遺伝子発現のレベルとの間での、少なくとも 1 0 0 % の差異が、該候補抗癌剤が抗癌活性を有することを示す、方法。

【請求項 1 9】

請求項 1 7 に記載の方法であって、前記候補抗癌剤が抗体、小分子有機化合物、小分子無機化合物、またはポリヌクレオチドである、方法。

【請求項 2 0】

請求項 1 7 に記載の方法であって、前記候補抗癌剤がモノクローナル抗体である、方法。

【請求項 2 1】

請求項 1 7 に記載の方法であって、前記候補抗癌剤がヒト抗体またはヒト化抗体である、方法。

【請求項 2 2】

請求項 1 9 に記載の方法であって、前記ポリヌクレオチドがアンチセンスオリゴヌクレオチドである、方法。